

平成27年11月15日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



公明党公認
あべやすお

いのち
生命を守る！
安全・安心のエキスパート

公約

- 1 福島への復興を加速させます
- 2 「人が生きる」
地方創生をすすめます
- 3 支え合い一人を大切に
健康長寿社会をめざします
- 4 安心・安全な地域をつくり
ます
- 5 教育・文化・スポーツを
充実させます

プロフィール

(現職) ● 党員幹事長代理 ● 党いわき総支部長

- 昭和32・3・11 いわき市生まれ(58歳)
- 昭和50・3 福島県立内郷高等学校卒業
- 昭和54・3 中京大学法学部卒業
- 昭和54・4 (株)家具の山新入社/昭和62・7 退職
- 昭和62・9 サンコープリント(株)入社/平成4・7 退職
- 平成4・9 いわき市議会議員に初当選。以後連続5回当選
- 平成23・2 辞職
- 平成23・11 福島県議会議員に初当選。現一期

いのち、やさしさ、ふくしを とりもどします



社民党
としゆき 鈴木

私の経歴

- ◆ 福島県立平工業高等学校土木科卒業
- ◆ 旧国鉄水戸鉄道管理局
- ◆ いわき市議会議員8期 副議長
- ◆ 社会民主党福島県連幹事長
- ◆ フクシマ原発労働者相談センター副代表

重点公約

- 国民運動で戦争法の廃止
- ただちに第二原発廃炉・再稼働反対・再生可能エネルギーの促進
- 医療・介護・福祉の充実・労働条件の改善
- 子ども・若者の貧困をなくすための公的支援
- 農業・農村を再生・TPP合意の破棄
- 公契約条例の制定で中小零細企業の支援
- 高齢者障がい者を地域で支え合う仕組づくり
- 労働者保護制度の改悪反対
- 雇用の劣化や格差・貧困の拡大に歯止め
- 消費税率一〇%反対
- 教育格差是正・奨学金制度の見直し
- マイナンバー制度の撤回

戦争法は憲法違反

社民党に一議席を

子供たちの未来のために!!

自由民主党公認

復興こそ、私の使命。



福島県議会副議長
自民党いわき総支部長
あおき たかのり
青木 稔

真の福島復興へ向けた青木稔の公約。

- 原発事故の早期収束と避難者支援、復興の加速、財源確保
- イノベーションコースト(福島・国際研究産業都市)構想の早期具体化
- 農林水産・観光・商工業再生のための風評・風化対策の強化
- 産業復興の加速化と再エネ・ロボット・医療関連・環境産業の集積、中小企業の振興と企業誘致
- 子供をはじめ全県民の健康と安全安心を守る取組み
- 医療・福祉・介護・子育て・社会保障の充実
- 未来を担う子供たちや若者を育む教育環境の整備
- 県民の生活環境を回復させるための事業の継続

国と県と市の太い人脈と協働で
真のふくしま復興を加速します。

岩城光英法務大臣・吉野正芳衆議院議員・森まさ子参議院議員・内堀雅雄県知事・清水敏男市長・自民党いわき市議団とともに復興を加速させ、ふくしま再生を成し遂げます。

青木稔のプロフィール

学歴 ■ 平一小・平一中・県立警城高校・法政大学経済学部卒業
 経歴 ■ いわき市議会議員(3期)福島県警城第一高校PTA会長
 現職 ■ 福島県議会議員(7期)、福島県造園建設業協会顧問、福島県薬剤師連盟特別顧問、いわき商工会議所顧問、いわき野球連盟顧問、いわき市レクリエーション協会顧問、いわき市インディアカ協会会長、警城高校野球部OB会顧問



Never Give Up. いわき!!

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行 福島県議会議員一般選挙選挙公報

いわき市選挙区

福島県選挙管理委員会

矢吹こういち プロフィール (60歳)

- いわき市議会議員(4期)
- 元いわき市議会議長
- 福島県議会議員(1期)
- 自由民主党福島県連党紀委員長
- 夏井川水系河川改良促進期成同盟会長
- 福島県立湯本高等学校同窓会会長

～未来につなげる、うつくしま～

3つの柱

安心して住み、暮らす
ふるさとで働く
まちをつくり、人とつながる

医療 地域医療体制の再構築を

- 新病院と民間病院との地域内連携の更なる推進
- 不妊治療の充実と不育治療支援
- 小児医療と周産期母子医療の連携強化

教育 未来を担う人材育成を

- 郷土愛を育む環境づくり
- 時代にマッチした教育環境の整備・充実
- スポーツ少年団やクラブ活動などへの支援強化

環境 次の世代に引き継ぐために

- 石炭ガス化複合発電(GCC)の早期着工
- スマートコミュニティ社会の実現
- 有害鳥獣(イノシシなど)管理計画の更なる充実

福島県そしていわき市の「復興・創生期間」を見据え、「県民の希望(ねがい)をカタチに！」を掲げ、復興創生へ勇往邁進して参ります。

信頼と責任、そして実行!!



自由民主党公認
やぶき

矢吹こういち

一心一意

福祉 子供も高齢者も輝くまちづくり

- 健康まちづくりの推進
- 出会い・婚活応援
- 高齢者・障害者の見守りネットワーク構築
- 子育て支援「コミュニティ」の充実

経済 地域産業に更なる活力を

- 農・商・工連携での地域産業の推進
- 水産業本格再開への支援
- 6次化による効率的営農の推進
- 観光による交流人口拡大への推進

復興を実感するために!!

いのち・くらし、最優先

放射能から県民のいのちと暮らしを守ります

昭和28年生まれ **主な経歴**
いわき市議会議員3期
環境経済常任委員長などを歴任
脱原発福島ネットワーク世話人
福島原発告訴団副団長
鹿島地区子ども見守り隊代表
いわき東地区防犯協会連合会理事
小名浜まちづくり市民会議相談役
江名の町再生プロジェクト相談役

子育ての環境を整備し、未来を担う人づくりに力をそそぎます

だれもが安心して暮らせる地域医療を再生します

つくろろう



いっしょに

高齢者・障がい者福祉の充実をめざします

地域を生かした産業の再生と振興に努めます

格差の是正、TPP反対、平和憲法と民主主義を守ります

議会と県政への県民参加を広げます

http://www.f3.dion.ne.jp/~kazu_obr/

脱原発、新しいふくしま



佐藤 無所属
かずよし

いわきから県政に

「元気」と「活力」を、

ふくしまから

「地方創生」と「つづきの復興を！」



福島県議会議員
あべひろし
自由民主党公認

【主な経歴】

- 一、昭和四十一年三月県立磐城高校(十八回)卒業
- 二、昭和四十五年三月千葉商科大学商経学部卒業
- 三、平成四年九月いわき市議会議員初当選
- 四、以後五期十七年間市議を勤める。
- 五、現在、いわき市ソフトボール協会々長

○誇りあるふるさとづくり

- 地域に伝わる民俗芸能、文化を継承し、次世代へ伝える事の誇りをもつ心を育てます。
- 地域の人々が共に支え合い生きるコミュニティを再生します。

○地域づくり

- 高齢者が生きがいを持って働き、学べる環境づくりに努めます。
- 県民の健康増進と各種運動施設の整備充実と、生涯スポーツを通じた街づくりを推進します。

○次世代の人づくり

- 震災をのり越えられた多くの人の支えに感謝し、福島復興や社会貢献しようとする心を育てます。
- 教育環境の改善、子育て相談体制の充実を図ります。

○活力ある福島県づくり

- 企業誘致の促進を図り、若者と中高年の雇用の場を確保します。
- 地場産業の育成や中小企業を支援し、地元雇用確保に努めます。

平成27年11月15日執行

福島県議会議員一般選挙選挙公報

いわき市選挙区
福島県選挙管理委員会

アベ政治を許さない力 あなたの1票を 宮川えみ子へ



日本共産党
宮川えみ子

戦争法強行、原発再稼働、TPPに消費税増税——県民の願いを踏みにじる安倍政権は許せません。日本共産党・宮川えみ子への1票で、県議会でも安倍暴走政治にストップをかける力を大きくしてください。

戦争法 安保法制 廃止 の国民連合政府を

「戦争法廃止の国民連合政府」で一致する野党が、国政選挙で選挙協力を。

全国の原発ゼロ

国・東電・県へハッキリものをいいます

▼原発労働者の危険手当を確実に
▼事故収束と汚染水対策強化を

くらしを守る

県予算約2兆円をくらし応援に

学校給食費は無料に
約80億円

▼国保税引き下げを

(1世帯1万円引き下げ約30億円)

▼特養老人ホームの増設を

待機者ゼロで、約2400億円の仕事創出し。介護職員の待遇改善を。

生活道路改修、

公営住宅増設・家賃補助など

住民本位のまちづくりを

困ったら共産党へ

事務所 いわき市中岡町5丁目 12-11 電話85-0753

略歴▶1946年中国東北部(旧満州)生まれ。錦小・錦中・県立磐城女子高(現・磐城桜ヶ丘高)卒。市議7期。県議2期。

～「原発」も「格差」もない平和な未来を次世代に～



民主党公認
ふるいち みつひさ
古市三久

■原発、格差、安保法制の三重苦

福島第一原発が爆発して以来4年半にもなるのに、いまだに事故処理の見通しも立たず、浜通りでは放射能の汚染が続いています。安倍首相は、事故処理の責任を果たすと言いつつも、現場は東電まかせで何の責任も果たしていません。

一方、安倍政権になって貧富の格差はますます大きくなり、貧しい人はいっそう貧しく、貧しくはなかった人まで貧しくなろうとしています。さらに、先ごろ、安保法制が強行採決され、戦後七〇年の長きにわたり一度も戦争をしなかった日本が、いつでも戦争できる国になろうとしています。

いわきの状況はいっこうに改善されず、この国はかつてなかったような危機的状況にあります。

■今、大人が子どもたちのために責任を果たすとき

原発事故も格差問題も安保法制も、これらを次世代に残してはなりません。私たち大人が今から本気になって取り除くこと。それが私たち大人の責任です。

どうか有権者の皆さま、子どもたちが、そして社会のみんなが安心して暮らせる未来にするために、わたくし、古市三久ともがんばりましょう。古市三久はこれまで以上に、子どもたちの未来のため、いわきの未来のために力を尽くします。「よみがえれ、われらのいわき！」

■主な政策目標

【原発】事故を安全に収束させる。【平和】安保法制廃案、憲法9条を守る。【格差】正規雇用を増やす、地元企業・事業者を支援。【子育て】安心して子育てができる地域づくり、働く母親・働くパパを支援。【福祉】高齢者・障害者が安心して暮らせる地域づくり。【医療】医師不足・医療従事者不足を解消。【TPP】TPPに反対し農林・水産業を守る。【いわき再生】大震災前の豊かないわきを復活させる。イノベーション。

よみがえれ
われらのいわき

●プロフィール
1948年いわき市生まれ。2000年いわき市議会議員、以後3期務める。2009年福島県議会議員。現在まで2期6年務める。
●古市三久の政策目標、活動、県議会の報告は、左記のサイトに掲載中。今後も定期的に更新します。
《古市三久公式サイト》
<http://f393.jp/>

各投票所の投票できる時間は、次のとおりです。

■当日投票所

市町村名	全投票所数	投票所数	開始時刻	閉鎖時刻
いわき市	140	40 投票区	7:00	18:00
		100 投票区	7:00	19:00

■期日前投票所、不在者投票所

原則として

8:30 から 20:00 まで

※ 一部、異なる場合があります。

詳しくは、いわき市選挙管理委員会にお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

地域
津波被害地への配慮。
お年寄り一人暮らし安全対策。
空き家対策(有効利用)。
治安、減災の徹底。
少子化対策。

地域資源
観光・一次産業の再生育成。
海面利用の検討。
歴史施設等の補完。

風評被害
～実態把握から～

経済雇用
官民間の積極的交流(人材交流)。
各種研究施設・企業の集約。
新エネルギーの育成
(洋上風力・水力など)。
テレワークの活用。

子育て・教育
子供の健康管理の徹底。
安心安全の遊び場づくり。
18歳からの専門教育への補助。
郷土教育の強化。

- 生年月日:1974年3月2日 いわき市勿来町生まれ(41才)
- いわき市立勿来第二小学校卒業、いわき市立勿来第二中学校卒業
福島県立磐城高等学校卒業 獨協大学経済学部卒業
- 会社員を経て、2004年1月から衆議院議員吉田泉秘書、政策担当秘書
- 家族 妻、長男(2才)、次男(0才)
- 尊敬する人 鳥居元忠(とりのいもとただ)
安土桃山時代の武将、徳川家康の家臣
- 好きな言葉
「かけた情けは水に流し、受けた恩は石に刻む」

いま「ふくしま」のために

すべての人が大切にしているものを守ること。

それが、政治の原点だと思う。

町づくりは人づくり、そして人をつくるのは「家族」。

社会の最小単位といわれる「家族」を守ることから

はじめたいと思います。その上で ……。



子育て奮闘中!!



とりのい
鳥居さくや

鳥居さくやの3つの責任

1. 政党の責任

多くの問題を抱える福島県。また、安保法制等民意が届かない現状だからこそ、民主党は威厳を持ってしっかりと強大政党に対峙しなければならない。

2. 世代の責任

40代、激変する福島県において、社会の中間管理職として各世代の調整役をしなければならない。

3. 未来への責任

温故知新。混沌とした時代だからこそ、郷土愛を育み、文化に学び歴史に問う。県民としての懐を深く確かなものにならなければならない。



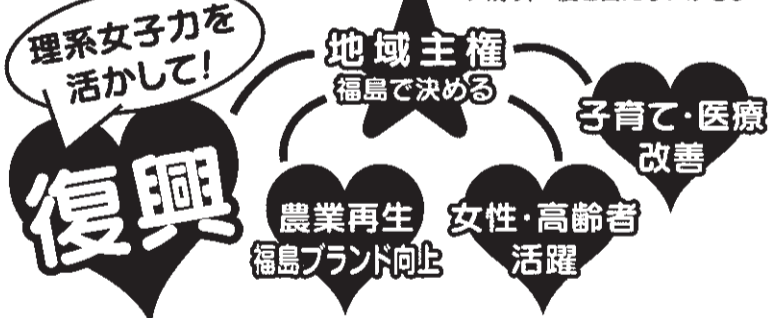
震災を乗り越えて来た県民のみなさんと共に、新しい福島を創りたい。

その強い思いはどこから来るのか。東日本大震災が発生した時、私はベルギーでの留学生活が始まったばかりでした。信じられない事態が次々起きていくニュースを、永久に故郷へ帰れないかもしれないという絶望的な気持ちで眺めるしかありませんでした。しかし帰国して見た故郷は大きく傷つきながらも緑が生い茂り、二度と会えないかもしれ

れないと思った家族や友人達にも再会できました。「自分にもできることがあるかもしれない」と福島に戻って3年半。子どもからお年寄りまで、たくさんの素晴らしい方々との出会いがあり、楽しく暮らしている今は、あの絶望の日々から思えば奇跡のようです。

私から見れば、あなたも、あなたも、あなたも、みんなあの震災の混乱を越えて来た「ものすごい福島県民」の1人なのです。まだまだ長い年月がかかる大きな問題をたくさん抱えている福島県ですが、「大好きな福島を何とかしたい」という思いをみんなが持っている福島だから、「新しい福島」を創って行けると確信しています。希少な若手の理系女性として、県政をより身近なものとし、

女性・若者・様々な立場の人達の声届け、みなさんと共に政策を実現して行きます!



【選挙事務所】〒970-8026 いわき市平字南町60番地の2 南町テナント1F TEL.080-4518-0506

◆1977年生まれ。平五小・平三中卒、磐城女子高卒、東北大学農学部卒、東北大学大学院農学研究科博士前期・後期課程修了(農学博士)



無所属
やまざき和子
かざこ
38歳

福島県議会議員一般選挙

投票日

11月15日(日)

福島県選挙管理委員会・
福島県明るい選挙推進協議会



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行 **いわき市選挙区**
福島県議会議員一般選挙選挙公報
 福島県選挙管理委員会

地元の復興促進に全力!
「いわき市」の声を県に主張!



自民党公認 **木田 たくし** 54歳

自衛官時代に災害派遣も経験。いわき市議12年の経験も活かし、安全・安心で豊かな「いわき市」づくりに精一杯取り組みます。ご支援を宜しくお願いします。

私たちが応援しています。
 自民党 岩城光英 衆議院議員
 吉野正芳 参議院議員
 森まさこ 参議院議員
 佐藤正久 前衆議院議員
 坂本剛二 前衆議院議員

木田たかしの活動テーマ
 地域の皆様の声をもとに、愛する郷土・いわき市の立場を県議会で徹底的に主張。地元で政策面、補助金、事業獲得などで政治・行政の光を当てていきます。
 ■県土再生と震災復旧・被災者支援の徹底
 ■日本一子育てしやすい環境を確立
 ■スポーツ・教育先進県・ふくしまの実現
 ■農林水産・商工観光業の支援強化
 ■医療・福祉・介護政策の支援拡充

木田孝司(きた たかし)経歴●昭和36年いわき市生まれ●県立平工業高から国士館大法学部卒。●航空自衛隊入隊。災害派遣で御巣鷹山日航ジャンボ機墜落事故の被害者を探検・収容。●衆議院議員秘書～常交整備隊入社。●救急医療充実などを旨とし、いわき市議3期(東日本大震災復興特別委員長等)●平成26年県議補選当選(商労文教委員、復興加速化・風評対策特別委員)●福島県体操協会副会長●妻と母の3人家族

WEBで最新情報発信中!ぜひご覧下さい ホームページ <http://kidatakashi.com> ブログ



無所属 **さいまる 武進** 71歳

主な経歴 昭和38年7月1日～平成3年1月7日迄いわき市職員在籍
 平成7年4月～平成27年11月19日迄県議会議員
 平成27年11月5日～平成27年11月15日県議6期目に挑戦

私は、この度、県議選六期目の闘いに挑みます。直言実行型で邁進する決意であります。政治信条は、つくろろう人間愛のまちを主軸に据え、福祉に愛、教育に心、環境に知恵、をモットーとして、頑張つて参る決意であります。私は、内堀県知事の現場主義を評価致します。私も、元々、現場主義を貫いており、生活者や市町村の声をしっかりと傾け、県政の進展の為に、汗を流さなければならぬもの、自分自身に言い聞かせているところでもあります。県民の声を咀嚼(そしゃく)して、ある時は市町村に、ある時は県に、ある時は国に、東電には、直に迫り、脱原発、全機廃炉、事故の復旧復興、原発損害賠償等の完全補填策等を強く求めて参る所存であります。特に、除染対策、放射性物質を含んだ汚染水処理対策については、力点を注ぎ、県民の皆様の期待に応えなければなりません。更に、浜通り地方、いわき市は、医療体制、中でも看護介護面が、大変厳しい環境下に於かれていますことから、医科大学や自治医科大学等に、医師の増員策、看護師の増員策、並びに医療等のマンパワーの確保に万全を期す必要があります。脱原発に代わる再生可能エネルギーの開発促進、ロボットの開発促進、イノベーションコースト構想(海岸線の技術革新)等も同様であります。みんなで知恵を出し、行動を起こし、福島市の再生のために、頑張ろうではありませんか。私は、今次の選挙戦を勝ち抜いて、課題解決のために、皆さんの期待に応えたいと思っております。どうか、引き続きのご指導とご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。決意の一端に替えさせていただきます。

投票日に投票できない方は、
期日前投票制度 又は **不在者投票制度**
 を利用しましょう。

※ 避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。



福島県議会議員一般選挙 11月15日(日)

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



日本共産党
吉田
えいさく

原発事故から4年半すぎても事故は収束せず、くらしは大変です。原発再稼働・賠償打ち切り、戦争法強行の安倍政権は許せません。自民中心の県政を変え、くらし・平和を守る県政へ力をつくします。

県予算約2兆円をくらし応援に

学校給食費は

無料・軽減を

医療・介護職員の待遇改善で

介護施設増やす

国保税引き下げを

特養老人ホーム待機者ゼロで、約2400億円の仕事創出。

国・東電・県へ実施をせまります

危険手当を確実に

原発労働者の労働改善

生活道路改修、家賃補助など

住民のまちづくりを

戦争法廃止の国民連合政府を

日本共産党は、「戦争法」(安保法制)廃止の国民連合政府をつくること、そのために一致する野党が、国政選挙で協力することをよびかけています。

私に倍するご支援を吉田えいさくへお寄せください。 県議 長谷部淳

略歴▶1958年生まれ。平工業高校、東北工業大学卒。●消防団第5支団第一分団副団長。●元湯本高校PTA副会長。元高野小・内郷三中PTA会長。▶事務所 いわき市平南白土2-5-7 電話0246(85)5138

アップグレード福島

若さと情熱で福島
の未来を変える！
震災前より素晴ら
しく、はもちろん、
いわき、福島のもて
る力と魅力をフル
に発揮し、より高次
元で世界に誇れる
ふるさとを、みなさ
役に立たせてくだ
さい！



福島未来
責任世代

戦後七十年、震災から五年目の今年、五歳になり、私坂本竜太郎は三十歳になりました。これまでに永い間、世に多くの方々に迷惑をおかけして参りました。私を育ててくれた福島を、福島のために思返し、福島のために働き、福島のために貢献したいと強く感じました。福島の本気の復興が認められたいと強く感じました。私を育ててくれた福島を、福島のために思返し、福島のために働き、福島のために貢献したいと強く感じました。福島の本気の復興が認められたいと強く感じました。

プロフィール **坂本竜太郎** Ryutan

■1980年3月生まれ

35才(最年少)

- いわき市立植田小学校卒業
- いわき市立植田中学校卒業
- 県立磐城高校卒業(第50回)
- 中央大学法学部卒業
- 元いわき市議会議員(2009年補選)
- 元自民党いわき総支部青年部長
- 前衆議院議員 坂本剛二 秘書
- 現(公社)いわき青年会議所会員
- 現(公社)日本青年会議所
- 東北地区協議会 復興推進委員

【好きな言葉】

- 和顔愛語
- 苦難福門



さかもと
坂本竜太郎

福島県議会議員一般選挙

投票日

11月15日(日)

福島県選挙管理委員会・
福島県明るい選挙推進協議会



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

らしさ...を求めて地方の時代へ!

大震災前から地方の課題は同じ! ひと・まち・しごと

福島県をきめて
全国2府29県で
制度化されています

車いすマークの駐車スペースを
空けておきましょう!

ここは、歩行が困難な
「障がい者・高齢者・妊産婦・けがをした方」
などが駐車するところです。



佐藤健一が提案した、福島県の
《おもいやり駐車場》
利用制度

他県との相互利用について
福島県で交付された利用証を提示することにより、各府県の制度における車いす利用者用駐車スペースを利用することができます。

～それぞれが輝くために～
県民一人一人に
等しく光が届く県政をめざして!
誇りを持って 福島に生きる!
いわきの思いを伝えたい!

大震災の影響が最後まで残るのは、いわきです。

●受け入れ自治体に対する更なる制度の充実を求めます!

- ・人口増加を推測しながら未来をどう描くか
 - ・市街地並びに供与している土地の利用をどう描くか
 - ・流動した労働人口と地場企業の融和をどう描くか
- 制度上の不平等感を少しでも解消し、明日のいわきのために努力します。

- ①地域が輝くために!
- ②子供達の笑顔が輝くために!
- ③健康で明るく輝くために!



国宝白水阿弥陀堂

●●
信 役
条 職

人元元元内佐い
はわ内衆福島小内藤わ
はわき内衆福島小内藤わ
人き郷議島島小内藤わ
によ市郷院議島島小内藤
って身郷院議島島小内藤
て障工議島島小内藤
輝害会員議島島小内藤
く者年公設員二期
福部第
祉部書
協長一
会書

事務局長

●
経 歴

いわき市内郷宮町金坂三
佐藤呉服店の長男として生まれる
昭和24年4月27日生
内町小内郷一中磐城高校、関東学院大学卒



無所属

佐藤けんいち

66歳



福島県議会議員
候補者

鈴木さとる

私たちのふるさと、福島県は、
東日本大震災により、深く深く傷つぎ
ました。

忌まわしい過去は変えることはできません。
ですが、未来は変えることができます。

私たちの努力によって。

大震災からもうすぐ五年。

これからの五年間は、復興創生期間と
して、未来のふくしまを創る、大事な
期間となっております。

是非とも私にその仕事をやらせて
下さい。福島県議会に身を置き、
責任をもつ一人として。

- 災害に強い基盤づくり
- 市民の暮らしづくり支援と
地域経済の活性化
- 未来を担う子どもをばぐんか
○地域医療とその資源を守る
- 小名浜港の機能向上

創ろうよ!!

生き生きふるさと!!

私にはその責任と

覚悟があります。

鈴木 智

投票日に投票できない方は、
期日前投票制度 又は 不在者投票制度
を利用しましょう。

※ 避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。



福島県議会議員一般選挙 11月15日(日)

平成27年11月15日執行

いわき市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

福島県議会議員一般選挙 投票日11月15日(日)

投票日に投票できない方は、

期日前投票制度 又は 不在者投票制度 を利用しましょう!!

避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。

■期 間 / **11月6日(金)～11月14日(土)**

■時 間 / **8:30～20:00** (※一部、異なる場合があります)

期日前投票所によっては、投票期間や投票時間が異なる場合がありますので、各市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。福島県選挙管理委員会のホームページに県内市町村の期日前投票所及び投票時間等を掲載しております。

選挙が行われていない福島県外の市町村で不在者投票を行う場合、不在者投票のできる時間は平日の8:30から17:00までとなりますので、ご注意ください。

■場 所 / 期日前投票：各市町村の期日前投票所
不在者投票：滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会

■手続き / 期日前投票：期日前投票所に行って直接、投票箱に投票します。
不在者投票：以下の手続きにより投票してください。

1 投票用紙等を請求する

「不在者投票請求書・宣誓書」に必要事項を記入し、住民票のある市町村の選挙管理委員会へ郵送してください(メールやFAXでの請求はできません)。

※様式は、県選挙管理委員会ホームページからもダウンロードできます。

2 投票用紙等を受け取る

住民票のある市町村の選挙管理委員会から、郵送されてきた封筒(投票用紙、投票用封筒(内封筒と外封筒)、不在者投票証明書)を受け取ってください。

【注意】不在者投票証明書の開封や投票用紙への事前記入は絶対にしないでください。投票ができなくなります。

3 滞在地(避難先)の市区町村で投票する

受け取った封筒を持参して滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会で投票してください。

滞在地の市区町村から住民票のある市町村に投票済の投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

期日前投票はこんなときにできます

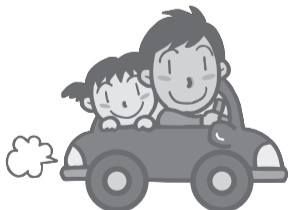
仕事、学業、本人又は親族の結婚式等の場合

※自宅で商店等を営んでいる方も期日前投票ができます。
※結婚式の仲人や司会、あるいは葬式で手伝うことになっている方も期日前投票ができます。



投票区の区域外に出かけたりする場合

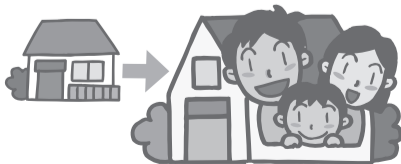
※家族旅行やショッピングに出かける方も期日前投票ができます。



病気、けが、出産等のため歩行ができない場合



引越し等をして他の市町村に住んでいる場合



みんなで選挙にGo!
～未来は若者が作る!ラジオCM制作レポート～

もうすぐ県議会議員選挙... 若者たちに関心を持って投票してもらうには、どうしたらいいか...

24% 投票した
76% 投票していない

県選挙管理委員会 大野
県選挙管理委員会 佐藤

ラジオCM企画? ラジオCM制作のアイデアを学生が考えてみてください!

選挙をPRするラジオCMを学生のアイデアで制作!

借りよう!学生のアイデアを!

その中から2つの案が採用された!

学生たちからは45の企画案が!!

内こはい。内こはい。内こはい。学生参加による県議選啓発用ラジオスポットCMについて

- 皆さんの柔軟なアイデアで40秒のショートストーリーを企画。
- 選挙の堅苦しさを打ち破る“有権者の心に届く”内容。
- 学生企画の中から選挙期間中にラジオ福島、エフエム福島で放送するものを2点選びます。

「選挙に行く=未来を作ること」ラジオCMで、みんなの心に届けたい!!

その後、学生の皆さんも参加して、ラジオ局で収録が行われ、CMが完成!

ラジオ福島&ふくしまFMで学生が企画した選挙啓発ラジオCMが11月7日(土)～11月15日(日)放送予定!

みんな、CMを聴いて、投票に行ってください!

制作・企画/株式会社 ル・プロジェ ふくらボ!編集部

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。